

平成26年度 第2回 倫理委員会議事録

開催年月日：平成26年7月31日(木) 17時30分～18時30分

出席者：磯部診療部長、高橋豊副院長、高橋テル子副院長、小林耳鼻咽喉科部長、伊東循環器内科医長、篠原薬剤科長、石井耕教授、相馬秀香氏、石井事務部長、五十嵐部長、金子総務課長

欠席者：縄手小児科医長

冒頭、受付番号26-6、26-7で7月22日に開催された倫理委員会迅速審査で提出された申請書の承認を報告。

受付番号26-8

課題名：「成人における侵襲性肺炎球菌感染症全国サーベイランス」

(議事要旨)

1) 研究の目的等を鈴木昭病理診断部長より説明。

目的は、成人における、肺炎球菌莢膜血清型の分布を明らかにし、小児とあわせた今後の予防戦略に役立てる。

対象は、当院の入院ないし通院中16歳以上の侵襲性肺炎球菌感染症（細菌性髄膜炎、菌血症、関節症、胸膜炎、腎盂腎炎、胆のう炎）の患者、全国で500株収集。

方法は、対象となる被験者の病歴、臨床経過、検査所見、治療データ、重症度、転帰、インフルエンザワクチン及び肺炎球菌ワクチン接種歴などの情報収集等。

実施期間は、平成26年4月～平成29年3月末日。

全国調査へ協力するにあたり、患者のプライバシーに十分配慮した上で個人情報採取し、それらの情報を完全に匿名化した上で外部に発表するため、審査を希望する。

2) 委員より質疑応答及び協議内容

○患者に対しての説明文書もあり文書による同意も必要なし、また患者を特定出来るものではない。

協議結果：「成人における侵襲性肺炎球菌感染症全国サーベイランス」は、承認する。

受付番号26-9

課題名：「癌治療に関する患者の意識調査（アンケート調査）」

(議事要旨)

1) 研究について小島腫瘍内科部長代行より説明。

目的は、積極的癌治療に対する患者さんの意識をアンケート調査し、患者さんの積極的癌治療に対する実際の思いを確認することで、より適切な癌治療のコーディネートにつなげていく。

対象及び方法は、腫瘍内科・呼吸器科通院あるいは入院中で、アンケート調査が可能と思われ、口頭でアンケート協力に同意を得られた患者。ただし認知力低下、精神的

問題、性格などより本アンケート調査に不適と担当医師や看護師が判断した患者は除きアンケートを実施し、回収後に集計する。

実施時期は倫理委員会承認後～平成26年8月31日。

患者に対するアンケートの実施の是非とその内容の倫理的妥当性を審査希望。

2) 委員より質疑応答及び協議内容

○私がこのアンケートに回答するのであれば、プレッシャーを受けて意思決定が出来ず選ぶことが出来ない。（石井外部委員）

○患者の本心を聞きたいのか？アンケートを受ける意味が判らない。（相馬外部委員）

○癌と診断を受けた患者にとっては、つらいアンケートだと思う。

このアンケートは実施すべきではない。（石井事務部長）

○このアンケートは私が考えたもので、患者が役立つアンケートではない。アンケートを実施し、結果を今後の呼吸器科・腫瘍内科で患者の治療方法に役立てていきたい。

（小島腫瘍内科部長代行）

協議結果：「癌治療に関する患者の意識調査（アンケート調査）は、患者の立場になると負担をかけることになり、更に外部委員からの懸念する意見もあり実施自体に疑義が生じたため不承認とする。

※ 次回：平成26年8月27日（水）17：30より
健康管理センターにて行う。